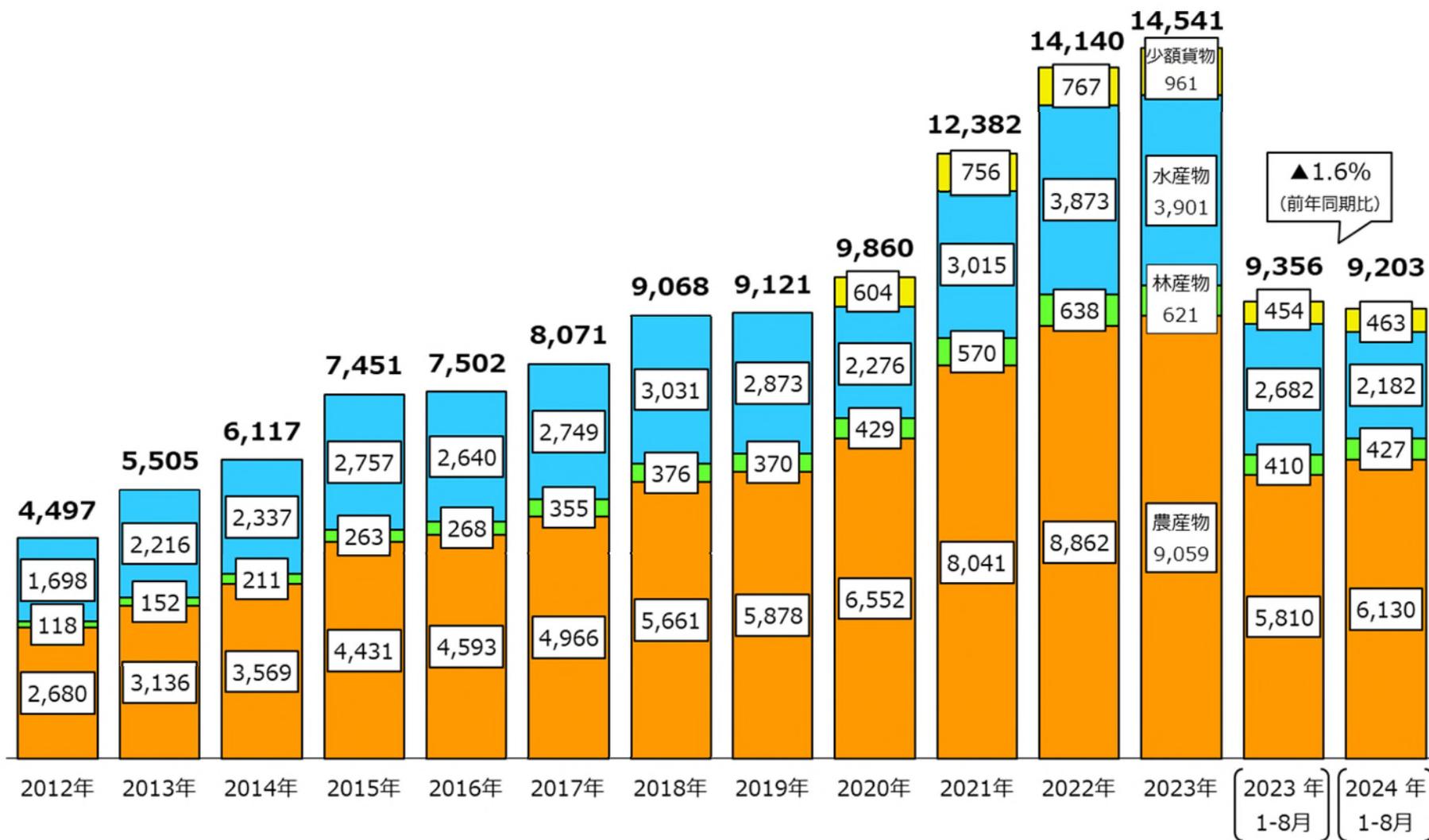


農林水産物・食品 輸出額の推移

(単位：億円)



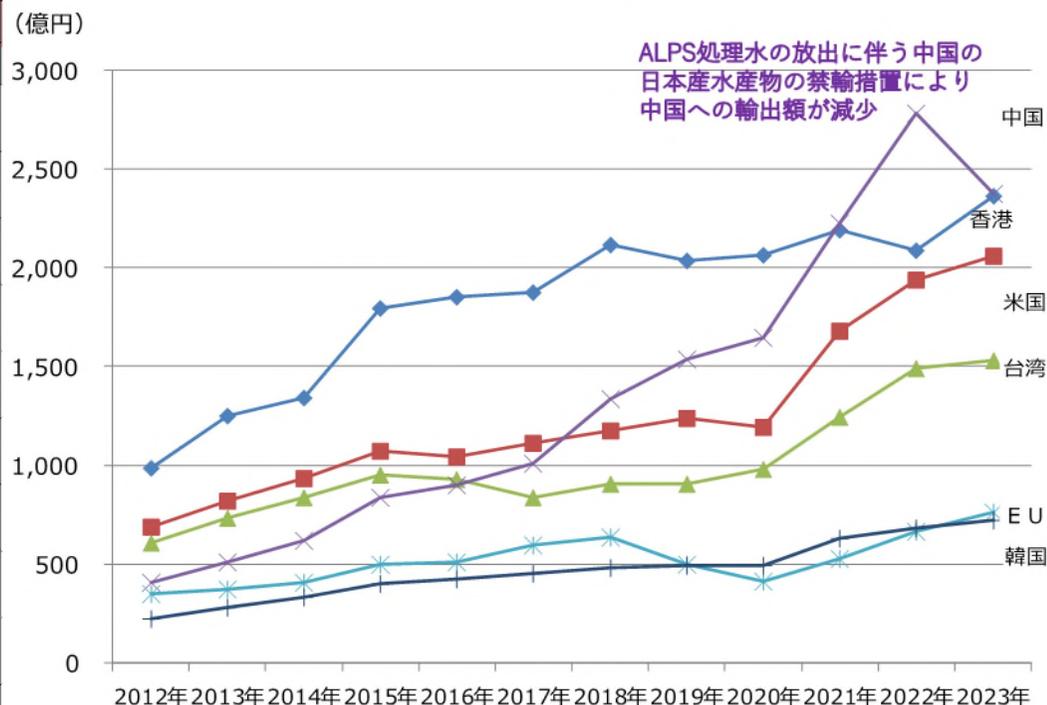
国・地域別、農林水産物・食品の輸出額

- 国・地域別で見ると、**米国、香港、中国**への輸出が4割強のシェア。
- 今後これらの国・地域以外のアジア、所得の高い北米や欧州諸国等にも輸出を拡大できる可能性。

上位10カ国輸出先国・地域別内訳（2024年）

順位	輸出先	2024年1-8月（累計）					
		輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物
1	アメリカ合衆国	1,507	17.2	+14.6	1,020	47	441
2	香港	1,343	15.4	▲ 11.0	812	9	522
3	中華人民共和国	1,052	12.0	▲ 41.4	799	210	42
4	台湾	997	11.4	+9.8	762	28	208
5	大韓民国	559	6.4	+19.0	380	25	154
6	ベトナム	534	6.1	+21.9	327	4	203
7	タイ	403	4.6	+15.9	188	7	209
8	シンガポール	359	4.1	▲ 1.1	302	4	53
9	オーストラリア	216	2.5	+7.2	193	2	21
10	オランダ	189	2.2	+18.6	167	5	17
-	E U	572	6.5	+17.3	498	14	60

輸出先国・地域別輸出額の推移



農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の取組

- **GFP（ジー・エフ・ピー）** は、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称。農林水産省が推進する**日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト**。
- 平成30年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「**GFPコミュニティサイト**」を立ち上げ。
- 当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省がジェトロ、輸出の専門家とともに輸出の可能性を無料で診断する「**輸出診断**」を平成30年10月から開始。



GFP登録者へのサービス提供

- **農林漁業者・食品事業者へのサービス**
 - ・ 専門家による無料の輸出診断
 - ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
 - ・ GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
 - ・ 輸出のための産地づくりの計画策定の支援
 - ・ メンバー同士の交流イベントの参加
 - ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供
 - ・ セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
 - ・ 過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供
- **輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス**
 - ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
 - ・ GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
 - ・ メンバー同士の交流イベントの参加
 - ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供
 - ・ セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
 - ・ 過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供

GFPの登録状況（9月末時点）

GFP登録者の内訳

区分	登録者数
農林水産物食品事業者	5,360
流通事業者、物流事業者	4,358
合計	9,718

GFP登録者数の推移



中国四国地域におけるGFP登録状況

- ✓ 中国四国地域におけるGFP登録数（令和6年9月末現在）は794事業者（中国428、四国366）。
- ✓ このうち訪問診断を申し込んだ登録事業者に対する訪問診断は、令和6年9月末までに86事業者（中国55、四国31）に対し実施。

【GFPの登録状況（令和6年9月末現在）】

		登録数 (比率)
登録事業者		794
農林水産物 食品事業者		574 (72%)
	うち、輸出診断 申込み数	78 (10%)
	うち、訪問診断 申込み数	88 (11%)
流通事業者、物流事業者等		220 (28%)

【訪問診断事業者内訳（令和6年9月末現在）】

品目	訪問 事業者数	輸出取組の有無	
		有	無
農産物/ 農産物加工食品	42	11	31
畜産物/ 畜産物加工食品	5	4	1
水産物/ 水産物加工食品	21	9	12
その他加工食品	12	8	4
酒類	6	5	1
合計	86	37	49

【輸出診断の概要】

- ・ 事業者のレベルに応じたアドバイス。
- 「何を、どこに、誰に」売るかを明確にすべき。
- まずは商談会に参加すべき。
- 支援策や課題の問い合わせ先を紹介。
- 検疫や商談会の情報を提供。

【事業者の声】

- ・ 各種支援策や検疫、商談会等の情報が得られてよかった。
- ・ 農水省、JETRO、県との課題共有は収穫。
- ・ 行政、植物検疫協会等との人的つながりができてよかった。
- ・ 人脈を広げて事業者間で情報を得たいので、GFPコミュニティの取組に期待する。

あなたを、 生産者の 日本代表にしたい。



1億人ではなく、
100億人を見据えた
農林水産業へ。

四季の豊かなこの国で、だれかを喜ばせたい一心で取り組む生産者のみなさんへ。
海外各国からのニーズが大きくなっている今、みなさんと輸出の成功事例をつくっていきたい。
このコミュニティにぜひ参加して第一歩を踏み出しませんか。農林水産省が全力でサポートします。



こんな方に最適です！

- 輸出をしたいけど、どうしたらいいかわからない！
- ビジネスパートナーを探したい！
- 輸出に関わる情報を効率よく入手したい！

GFPを通じた成約事例も続々と出ています！

登録
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を。

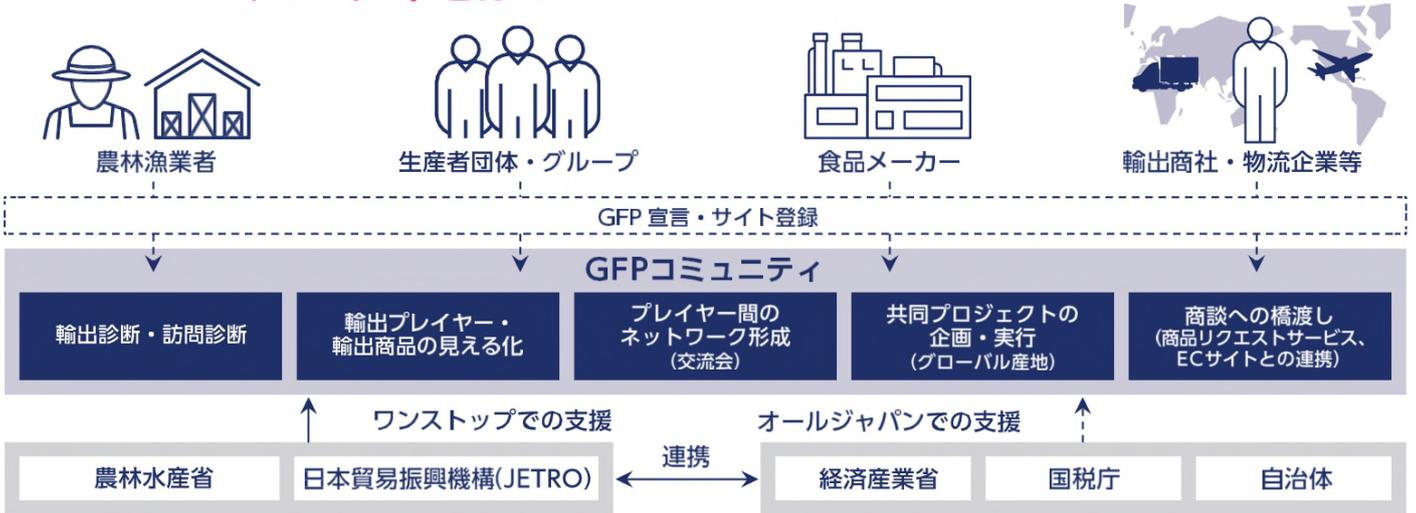
WEB : <http://www.gfp1.maff.go.jp>

問い合わせ先：農林水産省 GFP事務局 Mail : gfp@maff.go.jp



農林水産省

1 GFPコミュニティとは？



- 輸出は、国内出荷と異なり、様々な手続き・規制・言語のハードルや独特の商流が存在し、個々のプレイヤーでは継続的な成果を出すのが困難です。
- こうした課題を乗り越えるため、個々のプレイヤーがビジネスパートナーを見つけ、商談への橋渡しを行うサイトを構築します。
- 併せて、これらのコミュニティでの取組みに対して、行政・JETRO等が一体となって、ワンストップの支援を提供します。

2 GFP登録事業者

農林水産物・食品の輸出に意欲的に取り組もうとする事業者(生産者、食品加工メーカー、商社、物流企業、金融機関など)

3 サービス詳細

- 輸出診断・訪問診断**
農林水産省がJETRO、輸出専門家とともに、生産現場等に訪問またはオンラインにて「輸出の可能性」を無料診断します。
- 訪問診断実施者フォローアップ**
各登録者の課題解消に向けて、GFPビジネスパートナーマッチング・デジタルカタログ・輸出塾等を通じてサポートします。
- GFPコミュニティサイト**
各登録者が、自分の商品やサービスをGFPサイトのマイページで発信したり、気になる事業者に直接コンタクトできます。
- 商品リクエスト**
輸出商社等が現地ニーズに基づく「商品リクエスト」を発信し、生産者との商談につなげるサービスです。
- グローバル産地づくり推進事業**
輸出先国のニーズと規制等に対応し、積極的に戦略を持って輸出への取組を行う産地形成を支援する事業です。
- 交流会・セミナーの開催**
情報交換、交流、知識の習得を目的としたセミナー等、多様なイベントを開催します。
- 情報発信**
会員限定メールの配信、Facebook GFP関連の情報発信、GFP登録者の発信のシェア等を随時行っております。
Facebookでも輸出診断の様子を紹介しています。

GFPコミュニティサイトイメージ



GFPデジタルカタログ (商談資料)

